

内弟子生活の印象 カレル・リンデ

ここ所沢道場の事務室に腰を下していると、朝の小鳥のさえずりが聞こえ、開いた窓からは一日の始まりの美しい温かな日差しが感じられます。

私は三カ月の内弟子生活を終えて、明日スウェーデンに帰国するための荷支度をしているのです。こうしてここで感想を書いていると、沢山の思い出や考えが頭をよぎります。この生活が今までの自分の生活とどれ程違い、どんなに素晴らしく、ワクワクしたものであったかは言葉では言い尽くせません。



しかし、一つ確実に言えるのは、これまでの人生で最高の時であったということです。私は、文化、人々、習慣、生活などにおいて全く違った世界を経験しました。

初めは、何から何まで違う日々の生活を受け入れ、理解するのに多少の時間がかかりました。最初の二週間は厳しい日々が続きます。連日の稽古で体は痛み、過度の睡眠不足の中、毎日直面する「初めて経験」の連続で疲れ果ててしまいました。

しかしそれが過ぎると突然感じ方が変わります。二三週間も経つと体が稽古に慣れ、毎日やらなければならないことの要領がわかってきます。掃除、稽古、料理、睡眠、それからまた稽古といった具合です。

今では、ほとんど苦痛も問題もなく過ごせるようになり、私が最も愛している合気道に集中できるようになりました。内弟子として、私が想像した以上に沢山の事を経験することができました。素晴らしい冒険や旅は、今後の私の人生の良い思い出となるでしょう。



皆さんに親切にして頂き、ここ日本で多くの新しい友人と仲間を作れたと思います。ここでの過ごした事で、その存在すら知らなかったことについて多くを学び、人として啓発され成長したと思います。

ただ何かが起きるのを待っているだけでなく、明日を、毎日を自分で積極的に生きなければならないということが分かってきました。

また近いうちに是非戻ってきたいと心から思います。スウェーデンに戻れば、自分の身の周り

の事だけ知っていれば十分だよ、ここ以外にどんな生活があるというのだという人もいるかもしれませんが、私は別の世界を見て経験し、その世界は素晴らしい所だと心から言えます。その世界は「日本」です。

小林道場長、弘明先生とそのご家族、五十嵐先生、この日本滞在にご支援下さった方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。また笠原先生、小柳先生、山脇先生、道場で日々お世話になり、冒険を分かち合ったヘンリック、ミカエラ、アンディ、そして篠崎さんにもお礼申し上げます。そしてウルバン先生、私の夢の実現のためサポートしてくれた父には特に感謝しています。加えて道場の皆さん、私が会った全ての素晴らしい方々に感謝致します。私は果報者です。

Domo Arigato Gozaimasu!